

**製品名:** リラキシン受容体 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab17004

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	86kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RXFP2
別名	RXFP2; GPR106; GREAT; LGR8; Relaxin receptor 2; G-protein coupled receptor 106; G-protein coupled receptor affecting testicular descent; Leucine-rich repeat-containing G-protein coupled receptor 8; Relaxin family peptide receptor 2
遺伝子 ID	122042.0
SwissProt ID	Q8WXD0
免疫原	抗血清はヒト RXFP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 113-162

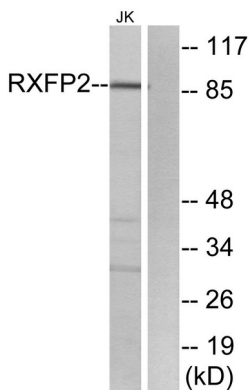
**背景**

この遺伝子は、GPCR (Gタンパク質共役型7回膜貫通型受容体) ファミリーのメンバーをコードしています。この遺伝子の変異は停留精巣と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年10月]、注意: Met-1とMet-18のどちらがイニシエーターであるかは不明です。、疾患: RXFP2の欠陥は停留精巣[MIM:219050]の原因です。停留精巣は、精巣下降障害としても知られています。これはヒトで最もよく見られる先天異常の1つであり、男児出生の2~5%に関連しています。停留精巣は、不妊症や精巣癌のリスク増加と関連しています。、機能: リラキシンの受容体です。この受容体の活性はGタンパク質によって媒介され、アデニル酸シクラーゼの刺激とcAMPの増加をもたらします。ライディヒヒンスリン様ペプチド (INSL3) の受容体である可能性もあります。、類似性:Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。、類似性:1つのLDL受容体クラスAドメインを含みます。、類似性:10個のLRR (ロイシンリッチ) リピートを含みます。、組織特異性:主に脳、腎臓、筋肉、精巣、甲状腺、子宮、末梢血細胞、骨髄で発現します。、

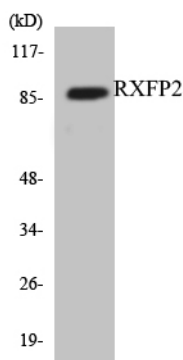
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



RXFP2抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RXFP2抗体を使用したHUVEC細胞溶解物のウェスタンブロット分析。

リラキシン受容体2 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

